



農業信任義會法

Part

1651



114
A3593



農業信任ノ事

テ財寶ヲ手放スルキ其信任ヲ保スルノ稱ナリ故ニ財主
 ハ「クレジット」ト興フルト云ヒ借主ハ「クレジット」ト得ルト云
 フ或人ニ「クレジット」ト興フル筈ハスト云ヘハ其人ハ信任
 ヲ得サルモノナリ又或ル所當時「クレジット」ナシト云フハ
 其所ノ人民「クレジット」ナキニヨル是ヲ以テ平生「クレジット」
 ヲ得タルモノヘハ財主安シテ其金ヲ手放シ又借主ハ必
 ス期ニ違ハスシテ之ヲ返却セリ是即チ條約ノ際信任ヲ
 保スルニ依テナリ故ニ人民「クレジット」ヲ増スルハ一般ノ
 安寧モ亦隨テ益スヘシ然ル所以ハ元金ヲ有スルモノ自
 ラ其金ヲ用フル能ハサルキハ之ヲ貸附シテ其利ヲ收メ
 借主ハ之ヲ以テ商工ノ事業ヲ営ミ而シテ其益ヲ得各々

大正十一年四月

相利シテ益々一般ノ財寶ヲ増殖スルニ至ル之ニ反シテ
 クレジットヲ減スルキハ一般ノ安寧亦隨テ衰ナルモノナ
 リ而シテ今茲ニ説明ヲ要スル所ノモノハ一般經濟上ノ
 クレジットニアラスシテ專ラ各國政府ニ於テ農業獎勵ノ
 為メ人民ニクレジットヲ得セシメンラ慮リ當時制定セシ
 所ノ方法及ヒ設立所ノ一ニ在リ因テ之ヲ左ニ説明ス
 農業未開ノキハ土地廣漠農民ニ於テモ土地ヲ購求スル
 モノ少ク又土地相續ノ途未夕立ス貨財ヲ以テ其子弟ヲ
 就業セシムルヲナシ故ニ災害等ノ為ニアラサレハ容易
 ニ貨財ヲ借受スルヲナク而シテ之ヲ借受スルヲ最モ難
 キモノナリ如何トナレハ斯ノ如キ未開ノキハ世ニクレ
 ジット行レス又地主ト唱ヘ財主ト唱フル別ナキニヨレ
 リ益シ土地（舊券）製スルノ發明ハ舊券（詳）未ニヨレ

ノ發明ヨリ凡ノ四百年ノ後ニアリ依テ之ヲ思考スルニ
 農業ノ為ニ市街ヨリ其元金ヲ運融スルハ最モ後世ナル
 一ヲ知ルニ足レリ漸々農業開ケ財主増加スルニ隨ヒ土
 地ヲ書入レ貨財ヲ借受スルヲ益々繁盛ナルニ至レリ佛
 蘭西國千八百五十一年政府ノ計表ニヨレハ地價ノ總高
 ハ八百三十七億四千四百フランクニ我百五十一億六千
 圓ニシテ此内書入質ノ高千八百二十年ニハ八十八億六
 千三百万フランクニ我十五億九千圓千八百三十二年ニハ
 百十二億三千三百万フランクニ我九十一億六千圓千八百
 四十年ニハ百二十五億千四百フランクニ我百二十四億千
 圓千八百五十二年ニハ百四十五億一百万フランクニ我
 六十七億九千八百圓ナリ斯ノ如ク數年ノ間ニ書入質地ノ高
 増加セリ一ラニセル子氏ノ説ニ佛蘭西國書入質地ノ總高ハ

地價總高ノ一割六分ニシテ内「アレタ」ニ縣ハ八分又或ル
縣ニ於テハ八割ニ當ルト云ヘリ佛國內閣ノ調ニヨレハ
斯ノ如ク土地ヲ書入レ貸財ヲ借受スルハ其土地ヲシテ
膏腴ナラシムル為メニアラス全ク土地ヲ購求セン為ニ
アリ又白耳義國千八百四十八年ノ頃ニハ地價ノ總高六
十六億四千九百萬「フランク」ニ十五億七千三百ニシテ家
屋ノ總價高一万六億五千八百万「フランク」一億三千六百
四十九万ナリ而シテ土地ノ書入レ高ハ四億四千万「フラ
ンク」我九千四百圓家屋ノ書入レ高ハ三億五千七百万「フラ
ンク」我六千八百九ナリ日耳曼澳太利「旧ト日耳曼國ニ係
ニ準以下」ハ書入實地ノ高地價總高ノ二十一分七厘上澳
太利ハ其高最モ多クシテ五十八分八厘地羅利邦ハ最モ
少クシテ六分二厘匈牙利國ハ四分三厘ニ當レリ普魯西

國ハ地價ノ總高六十三億一千八百万「ターレル」我四千三百七
二千萬ニシテ書入地ノ高二千五百萬「ターレル」我六千五百
萬普魯西東西西部ハ書入地ノ高地價總高ノ六十分乃至七
十五分西法里邦ハ二十五分普屬薩普ハ二十分保林
師邦ノ最モ多キ所ハ其高三十分ニ當レリ尾敦堡國千八
百六十年ノ頃ハ連年豊熟ニテ民有地ノ總價高ト書入地
ノ高ト九ノ相共ニ墨林堡國ハ千八百四十九年ノ頃書入
地ノ總高平均シテ貴族所有地總價高ノ四十五分ニ當リ撒
遜國ハ同ク四十分ニ當レリ然リト雖モ「グレジット」ノ「タ
ルヤ恰モ兩及刀ノ如キモノニシテ經濟ノ為メトナルア
リ或ハ放逸ノ為メトナルアリ其利害ナキ能ハス千八百
四十二年魯國民有地總高千百万個ノ内政府ノ金庫ハ書
入ノ高八十七万六千個又貯寶抵當貸附銀行ハ書入ノ高四

百七十一万八千個ナリ而シテ又大ナル土地ヲ有シテ負
債アルヲ利トスルカ或ハ少ニシテ負債ナキヲ利トスル
カ其得失之ヲ一般ニ論定ニ難シ日耳曼國ニ於テ佛朗克
ト撒遜ト其目的大ニ異ナリ撒遜ノ農民ハ祖先ヨリ讓受
ノ土地及ヒ家屋ハ相續ノ戸主之ヲ專有シ子弟ノ為メニ
ハ一時ノ負債ヲ以テ其産ヲ分テ而シテ漸次ニ之ヲ返却
ス佛朗克ノ農民ハ子弟ノ為メ土地ヲ分與スルニヨリ其
地初ハ狭少トナルト雖氏節儉ヲ以テ貸財ヲ蓄積シ
漸次土地ヲ増加スルアリテ負債ヲナスコトナシ
負債利子ノ高ト土地收穫ノ高ト相平均スルニ至テハ公
私ノ害之レヨリ甚キモノナシ如何トナレハ斯ノ如キ
片ハ必ス其元金ヲ償還スルヲ得サルカ故ニ借主ハ其書
入地ヲ收領セラル、ノ恐アルヲ以テ必ス之ヲ膏腴ニス

ルノ企ヲナシ然ハス而シテ地主ト雖氏其心情作主ト異
ナルコトナキニ至レリ之ハ渾テ利子ノミヲ收入スル永久
ノ貸與ニアラス全ク元金ヲ返還スヘキ一時ノ負債ニ在
リ愛爾蘭邦ノ如キ農業ノ為メ多分ノ負債ヲナシ之ヲ償
還シ得サル片ト雖氏其書入地借主ニ於テ依然保有スル
ノ法ハ最モ悪シキモノトス然ルニ頃年¹ル民其弊ヲ
矯メ斯ノ如キ土地ハ悉ク其貸主ニテ之ヲ有セシムル
ニ定メシヨリ農業大ニ興隆スルニ至レリ千八百四十九
年ヨリ千八百五十七年迄ノ間ニ土地授受ノ請願四千百
九件ニ至レリ其内負債主ヨリスルモノ千百九十五件ナ
リ而シテ當時負債ノ平均高²ク收穫高ノ二十四倍ニ及ヘ
リ
グレシットノ為メ動産ヲ抵當ニスル片ハ其品流用シ易キカ故

ニ之ヲ以テ其元金ヲ償還スルニ難カラサルノ論アリ是
ニ於テ遂ニ農業ノ「クレジット」分レテニトナリ其一ハ「モビ
リアル、クレジット」ト云ヒ即チ動産ノ抵當其二ハ「イモビ
リアル、クレジット」ト云フ即チ不動産ノ書入レ是ナリ而シテ
農業「クレジット」ノ為メニセシモノハ商業「クレジット」
ノ為ニセシモノ、如ク流用ニ易キモノニアラス如何
トナレハ農業「クレジット」ハ仮令動産ヲ抵當ニスト雖
モ速ニ元金ヲ償還スルヲ得ヘカラス然ル所以ハ其品
種元々穀物ナルヲ以テ人カノ之ヲ自由ニシ能フヘキモ
ノニ非ス漸ク週年一回收穫ノ片ニ至リ初テ其價金ヲ收
入ルニ依テテリ「仮令ハ種子ヲ購求セシ」為ニ借受セシ金
額ハ收穫ノ片ニ至ラサレハ之ヲ返還スル能ハス又肥糞
購求ノ為メニセシ金額ハ数年ヲ経ルニ非サレ返還ス

ルヲ得ヘカラス但牧蓄ノ為ニセシ片ハ其モノ大ニ流
用ニ易キモノナリ且ツ其品種特ニ流用ノ難キノミニア
ラス容易ニ之ヲ運輸スルヲ能ハス而シテ又時價高低ノ
甚シキヲアリテ大ニ障碍ヲ生セリ
農業「クレジット」ハ動産ヲ以テ抵當ニスルヨリ不動産ヲ書
入ル^{レトス}ト最モ多シトス而シテ土地ヲ永久改良セン為ニ
借受セシ金額ハ全ク其土地ニ消耗スルヲ以テ一時ニ之
ヲ返還シ能ハサルモ該地ヨリ生スル餘分ノ利得ヲ以
テ漸次償還スルヲ得子弟分散或ハ土地購求ノ為メ
借受セシ金額又現ニ貨財ヲ借受セスト雖モ土地ヲ購
求スル片其價金拂ヒ残ノ為メ收穫ノ幾分ヲ年々納付スヘキ義
務ヲ該地ニ負荷スルヲアリ又子弟分散ノ為メ授与スヘキ
高現貨ヲ以テセスミテ其所有地ヲ子弟ニ書入トスルモア

リハ容易ニ返還シ得ヘカラサルヲ以テ財主返金ヲ促ス
キ借主ニ於テ其金高別ニ他ヨリ借受スルヲ得サ
ルトキハ目下其困難ヲ生シ必ス永年賦ニ非サレハ一時
ニ之ヲ返還スルノ約ヲナシ得サルヘシ此故ニ地主ニテ
貸財ヲ借受スルノ約條ハ永久其利子ノミヲ納ムルカ或
ハ永年賦ニテ元金ヲ還納スルヲ限レリ而シテイモビ
リアル、クレジット、不動産ノ書入ハ「イモビリアル、クレジット」
動産ノ抵當或ハ「ペルセナール、クレジット」人ノ信任
ヨリ確實ナルモノナリ如何トナレハ「イモビリアル、ク
レジット」ハ多ク土地ヲ抵當ニスルヲ以テ之ヲ轉移シ或
ハ隠匿シ或ハ毀壞スルヲ能ハサルモノニ依テナリ

土地書入法律ノ事

借主ト雖モ十分ニ其財主ヲシテ安セシムルヲ冀望

スルナリ而シテ貸財ヲ借受セシトノ確實ナルハ一
般負債處分ノ明法ト裁判ノ明審トニアルハ勿論尚
ホ土地書入ノ為メ緊要ナル事ニアリ即チ左ノ如シ
イ 書入地ノ價高ハ少クトモ其借受スヘキ金高ヨ
リ降ラサルヲ要ス故ニ書入地ハ勿論其他ノ
物モ先ツ其價位ヲ查考シテ豫メ低降センヲ
酌量スヘキモノナリ即チ國中一般「クレジット」ヲ
失フトアリテ其土地ヲ競賣スルニ及フ等ノ事
口 書入ノ土地別人ニ關係ナキヤ否ヲ推究スルヲ
要ス即チ地主御主ニ於テ其土地ヲ書入ニス
ヘキ権利アルト或ハ別人ノ其土地ニ負セシ債
ヲ隠匿セサルト或ハ甲ノ貸主ト乙ノ貸主ト其
権利同シキモノナリ又乙主ノ権利却テ強クナ

ル等ノ丁ナキヲ要スル丁

イ印ノ探理ハ經濟上ニ屬シ口印ノ探理ハ法律上ニ屬ス
而シテ之ニ緊要ナル丁三ツアリ其一ハ「ブーブリチテ
」ト云ヒ即チ土地賣渡シノ丁義務ノ負荷セル丁及ヒ書
入賃ノ丁等渾テ公ノ手續ヲナスヘキノ事其二ハ「スベチアリ
テ」ト云ヒ即チ總テ書入地ノ區分ヲ明ニシテ疑ナキ
ヲ要スヘキノ事其三ハ「ブーリ」ト云フ即チ甲ノ
貸主ハ乙ノ貸主ヨリ其權利ヲ強クスル丁是ナリ漸
々農業ノ「クレジット」厚クナリ又經濟ノ道同クルニ隨ヒ交
換ノ價位アル品物流用ノ便ヲ得セシメント「ブー」謀リ或ハ
戦争等ノ爲メ土地ノ「クレジット」ヲ失ヒ債主尾解ニ及フ丁
アルヲ慮リ遂ニ從來ノ土地書入法律ヲ整正スルニ至レリ其
大要ハ即チ「ブー」ブーリチテ「ト」スベチアリテ「ト」ブーリチテ

トトノ三ニアリテ之ヲ十分ニ執行セシ所ニ於テハ一郡毎
ニ土地書入ノ帳簿ヲ製シテ大ニ鎮密ニセリ其帳簿ハ該
郡中ノ土地一面毎ニ一紙トシ一紙ノ表面ヲ三區畫ニ分
チ一ニハ其地主ト所有ノ因由トヲ記シ二ニハ渾テ負荷
ノ義務ヲ記シ三ニハ負債ノ高ヲ記セシモノナリ而シテ
之ニ記載セン「ト」ハ渾テ後日紛議ヲ生セシク其憑証トナ
シ記載ナキ「ト」ハ如何様ノ告訴ヲナスト雖ヒ之ヲ受理セサル
モノトセリ此故ニ帳簿中記載ノ地主ニ非サレハ書入レヲナスヲ
得ス又土地ヲ購求スルモ買主ノ名前書換終ラサル
間ハ必ス其持主ト見做スヘカラス相續ノ片モ同断ツリ
之ハ民法ニ於テ書換ヲ請フヘキノ權利アルノミニシテ土
地ニ對シテハ毫モ其權利ナキモノトセリ但シ書入賃地ニ
ハ期滿得免ノ法ナシ「帳記保証」ノ法ニアリ當時澳國ニ用

フル法即チ從前普魯西、巴華釐亞、撒遜、瓦敦堡其他ノ各國
ニ用シテ所ノ法ハ書入書換ノ一主簿官渾テ之ヲ保證スル
ヲ以テ其信疑ヲ審ニセン爲メ帳記遷延スルアリト雖
凡決シテ欺ク一ヲ得ス佛蘭西國ニ用フル所ノ法ハ書入
書換ノ一渾テ當人ノ請求ニ依テ帳記セシ一ヲ保證スル
ノミニシテ實際ノ保證ヲナサス故ニ地主ニアラサルモ
ノ即チ作主旧地主ニ於テ其土地ヲ書入ル、一アリ
主簿官若シ錯誤アリテ法律上之ヲ釐正スル能
ハサル一ト雖凡政府保證スルヲ以テ「クレジット」ノ道立
チ農業衰ル一ナシ「即チ撒遜國、巴華釐亞國ノ如キ是ナリ」
又各國ノ内實地取扱官ニ於テ法律上ヨリ經濟上ノ一ニ至
ル迄貸主ノ保護セル所アリ斯ノ如キ國ニ於テハ其地價ヲ積
リ而シテ地價ヨリ多ク負債スル一ヲ許サス之ヲ「タクサ

チヨニス、システマ」ト云フ「即チ瓦敦堡、巴華釐亞、佛蘭西各國
ノ如キ是ナリ」然リト雖凡此法其宜キヲ得サル一ニアリ其
一官吏ニ於テ之ヲ積ルハ私ニ積ルヨリ利得少シトス其二
土地ノ價位時々高低アルニヨリ官吏ノ積リヲ以テ確實ナリ
ト云フヘカラス「穀物ヲ輸出スル國ニ於テハ此差違最モ
甚シキモノトス」寧漏西邦ニ於テハ千八百十七年或ハ土
地ノ價高十五万^我九^百圓乃至十八万^我十^三圓
八十^我ナリシ所千八百二十五年ニ至テ三万^我百^二圓乃至
至四万^我圓レ^我ハ^二百^四十^九圓迄ニ賣レシナリ「斯ノ如キ所
以ナルニヨリ若シ格外ニ地價ノ低降セシキハ假令實地取扱
官多分ノ身元金ヲ出セト雖凡決テ之ヲ償フ一能ハス故ニ政
府或ハ鄉黨ニ於テ保証セス必ス地價ノ積リ自ラ低
降ニ却テ地主ノ「クレジット」薄クナリ十分ニ財貨ヲ

借受得サルニ至レリ「瑞士國ノ「サーフ」ハウゼン」ニ於テハ郷黨吏負其積リ高ノ五割マテハ六年ノ間之ヲ保証シ同ク「ツルガウ」ニ於テハ郷黨吏負其積リ高三年間ハ之ヲ保証シ三年ノ後ハ貸主ヨリ更ニ積リヲ乞ヒ而シテ保証ヲナスヲ以テ常ニ其責ヲ免ルヲ得ス然リト雖モ其積リ高大ニ低降スルヲ以テ借主ノ便ト云フヘカラス普魯西國ノ如キ帳簿中ニ「稅帳」記載ノ地價或ハ災害請負及ヒ購求ノ高ヲ記載シ官吏之ヲ保証スルノミニシテ實際ノ責ヲ受ケサル所ニ於テハ借主ノ便ト云フヘシ」而シテ實地取扱官ノ注心スヘキ「三アリ第一各負掌管ノ區域中土地ノ「クレジット」ヲ厚クスル丁即テ經濟上ニ屬シ第二帳簿ニ記入スヘキ事由ヲ明ニスル丁即テ法律上ニ屬ス第三土地ノ景況ヲ熟知スル丁之ハ土地區分ノ狭小ナル

程縝密ナルモノナリ第二第三ハ官吏保証ノ方法ニヨリテ各異ナレリ而シテ大ナル郷黨ノ吏負ニ於テハ最モ能ク之ヲ注心セサルヘカラス佛國ノ如ク一員ノ官吏ニテ十乃至十五万ノ持地ヲ掌管スルルハ其事十分ニ行レ難シ然レモ小國ニシテ掌管地ノ區分少ク又「タクサチヨ」ニスシテム「政府積ノ方法」ヲ行ハサレハ別ニ其取扱官署ヲ設ケスシテ可ナリ即ケ「墨林堡」國ニ於テハ封建籍土書入ノ丁「渾」テ一ノ中心官署ニ於テセリ

農業信任義會及「土地」書入實地銀行ノ事

農業信任義會及「土地」書入實地銀行設立ノ事ハ日耳曼國即チ普魯西國ノ發明ニシテ普魯西ノ英明ナル皇帝「菲哩特」第二世農民ヲ救濟セン為メ初テ此法ヲ起セリ歐羅巴各國七年ノ戦争漸ク和議ナリシ後農民ノ困難最モ甚シキ

モノナノ穀物ノ價位ハ大ニ低降シテ元金ノ利子甚々騰貴ス即チ土地ヲ抵當トシテ利子ノ高一割ニ及ヘリ而シテ尚ホ二分乃至三分ニ手数計ヲ出スニ非サレハ貸財ヲ借受スル能ハス故ニ負債ノ高漸々増殖スルノミニシテ益々疲弊ヲ極ムルニ至リ此時東國ノ地頭連署ニテ皇帝へ請願シ漸ク三年間ノ利子ヲ猶豫セリ斯ノ如キ疲弊ノ時ニ際モ伯靈府ノ一商賈「ジョーリング」氏ナルモノ農業勸奨ノ為メ信任義會創設ノヲ企テリ其大旨タル後未貸財ヲ借受スルハ各人一己ニテ保証セシヲ地頭地主供同保証スルニアリ即チ一邦中ノ地頭地主ヲ集メテ義會ヲ起シ而シテ其社員財貨ヲ借受セント欲スルハ義會ヨリ借主即チ地主ト貸主即チ財主トノ間ニ斡旋シテ義會社中ノ持地ヲ悉ク其抵當トスルノ目的ニシテ是レ實ニ良法ト云フ

ヘシ如何トナレハ貸主ニ於テハ借主一己ノ責任ナルヨリ一邦ノ各地頭地主ニテ保証スルノ確實ナル固ヨリ疑ヲ容レサレハ之ヲ信任シテ利子ヲ低降スル勿論タレハナリ之レ農業ノ「クレジット」ト厚クスルニ十分ナリト雖モ國家貨財ニ之ニキテ以テ其元金ヲ起スノ一難事アリ之レ「ユーリ」氏ノ目的ニハ義會ニ於テ社員ノ持地ヲ質帳ニ記入シ之ヲ抵當トシテ實地債券ヲ製スルノ法ナリ仮令ハ社員貨財ヲ借受セント欲スル者アルハ義會ニテ持地ノ價位ノ積リ其需要高ニ應セシ分ヲ書入レ需要高相當ノ債券ヲ發賣シテ其現金ヲ貸付ス而シテ義會ニ於テ債券利子ノ交付及ヒ元高償還ノ方法ト借主ヨリ年賦ニテ義會へ返還スルノ期規此償還法表ニ詳ナリヲ定メ若シ借主ニテ其利子ヲ納付セス又元金ノ返還ヲ惰ルハ直

ニ其書入地ヲ競賣シテ償戻スヘキモノトス然レト雖レ定
約ニ隨ヒ其利子ヲ納メ又元金ヲ償還スルニ於テハ義會
ヨリ一時ニ完納スヘキトテ候スヘカラサルモノトセリ
是レ其方法ノ大略ナリ千七百六十七年「ビュリーリング」氏宰
相「フランパーゲン」氏ニ之ヲ建言スト雖レ採用セラズ然
レ氏「細勒西」亞邦ノ農業信任義會ヲ起セシハ全ク「ビュリー
ング」氏ノ説ニ據ルモノナラシ其後大藏卿「伯」ス「レーン」ブ
ルク「氏」ビュリーリング「氏」ノ農業信任法ヲクル幾爾「マル」ノ「新」ノ「強」
ノ各邦ニ施行シ千七百七十七年ニ至リ該卿云ク現今
我國ニ行ハル、所ノ農業信任法ハ其初メ「ビュリーリング」氏
ノ思考ニ出ルモノニシテ千七百六十七年「ビュリーリング」氏
預言セシ如ク果シテ之カ為メ大ニ國家ノ安寧ヲ得タリト
千七百七十九年「ビュリーリング」氏農業信任法釐正ノ考案ヲ

皇帝へ具陳シ同年十二月三十日皇帝ヨリ其考案ヲ主相
「フラン、クラーメル」氏ニ下議セリ
「ビュリーリング」氏ノ目的タル負債主ノ保証人多キ程「クレジツ
ト」厚クナリテ仮令ハ従前土地ヲ抵當ニシテ貨財ヲ借受
スルキ其地價ノ半高ヨリ多ク貸付セサリシヲ其地價高
ノ三分ニ迄ハ債券ヲ以テ負債ヲナス「ト」ヲ得セシムルコ
アリ
又一ノ目的ニハ「クレジツト」ヲ家屋ニ與ヘシ「ト」ヲ望メリ如
何トナレハ農業ノ為ニ「質」地債券ヲ発行シ負債保証
ノ法確實ナルニ於テハ一般ノ元金自ラ市街ニ流用セス
シテ商工業ノ妨碍ヲ主スルニ依テナリ
又一ノ目的ニハ質地債券外國へ輸出セサル「ト」ヲ望メリ
如何トナレハ之ヲ外國へ輸出セハ其利子ヲ失フノミナ

ラス之カニメ外國ニ對シて分カ下風ニ立ツニ至ルニ依
テナリ是レ蓋シ當時經濟上ノ一論ニシテ即チ「メルカ
ンチール」ノ説ナラン其意金銀外他ノ財産ナシトスルニ
依リ國家金銀多キキハ其國殷富ナリ故ニ國家ニ金銀ノ
湊集スル丁最モ緊要ナレハ務テ輸出ノ物品ヲ増殖シ輸
入ヲ減スルヲ善トセリ尤モ現今經濟ノ學者此論ヲ辨破
セリ

農業信任義會幾爾疆及ヒ新疆邦ニ起セシ以未漸々各邦
ニ於テ之ヲ創設セリ波美拉尼亞邦ハ千七百八十年西普
魯西邦ハ千七百八十七年東普魯西邦ハ千七百八十八年
「ポーゼン」邦ハ千八百二十一年ナリ又近傍ノ各國ニ於テ
モ之ニ倣テ其義會ヲ起セリ即チ漢堡國ハ千七百八十二
年「リッブルク」國ハ千七百九十一年「ヘストランド」リッラ

「インド」ノ二國ハ千八百三年「スウェーデン」州「黒斯敦州」ハ千八百十
一年「墨林堡國」ハ千八百十八年「波蘭國」ハ千八百二十五年
「不来梅阿諾威」巴華釐亞ノ各國ハ千八百二十六年「尾敦堡
國」ハ千八百二十七年「埃塞國」ハ千八百三十二年「維士登哩
州」ハ千八百三十五年「ガリ」チエ「國」ハ千八百四十一年
年「撒遜國」ハ千八百四十四年ナリ

斯ノ如ク各國各邦ニ於テ信任義會ヲ起セシ以來人民ノ
安寧ヲ保チ農業ノ洪益ヲ得タル丁固ヨリ辨ヲ疾ス然リ
ト雖モ其功蹟ヲ識認セント欲ヤハ現ニ之ヲ舉行セシ人
ノ説ヲ以テスルニ如クハナシ先ツ茲ニ大藏卿「フアン
スツルー」エンセイ「氏」説ク「西」細「勒西」亞「邦」ノ景況ヲ
記セン千七百六十三年「歐羅巴」各國ノ戰爭漸ク和議ナ
リシ後細勒西亞邦地頭地主ノ「クレジット」入衰へ且ツ軍

兵宅集セテ所ニ於テ、農業ノ損害ヲ蒙ル丁最モ甚ミ
トス家屋ハ凡テ焼失シ農具悉ク損壞シ畜獸ハ掠奪セ
ラルアリ又餓死スルアラテ而シテ數年間耕作スルモノナ
ク畑地全ク荒蕪ス此故ニ土地ノ價位ハ真價ノ三分二
或ハ十分ノ五ニ低下シテ土地相當ノ負債アルモノハ悉
ク分散スルニ至レリ斯ノ如キ困難和議ノ後ニ於テ頭
レタリ然レニ戰爭中地頭地主格外ノ高價ニテ其產物
ヲ鬻キ又諸税及ヒ負債ノ利子ハ當時通用ノ悪金ノ以
テ納付セリ然ルニ戰爭ノ後菲哩特第二世貨幣管理ノ法
ヲ立テ之ヲ矯正セシヨリ利子及ヒ諸税ハ渾テ純金ヲ以テ
納付スル丁ニ至レリ茲ニ於テ穀物ノ價位自ラ平準ニ歸
シ又純金流用スルニ及テ速ニ貸主ヨリ從前ノ負債或ハ戰爭中
ニ抵當ナク貸付セシ金額ノ返還ヲ促シ又其書入ヲ要スル者アリ初テ

土地ニ格外ノ負債アル丁人皆之ヲ知レリ斯ノ如キ所以ナ
ルニヨリ如何ナル大家ノ地頭地主ト雖モ「クレジット」ヲ失
フニ於テハ生計ヲ営ム能ハサルヲ昭々タリ假令五万「タ
ー」レ「我三百万」ノ土地ヲ有スルモ四万「ター」レ「我ニ
四千八百」ノ負債アリテ若シ穀物登ラズ或ハ地價低下
シ或ハ畜獸斃死シ或ハ雹霰ノ災ニ罹ル等ノ事アリテ
大損失アルキハ之ヲ救済スル丁固ヨリ力ノ及フ所ニ非サ
レハ立トコロニ困難ヲ未ス丁勿論タリ即チ細勒西亜
邦ノ地頭地主前述ノ如ク「クレジット」ヲ失フニ於テ一人
ノ貸財ヲ貸付スヘキモノナク既ニ分散セント欲スルキ
ニ際シ幸ニ「ゴユー」リ「ング」氏農業信任法ノ考へ起ルニ及
テ皆此法ニ歸向シ一般之ヲ施行スル丁ニ至レリ蓋シ細勒
西亜邦人氏ノ安寧ヲ保ツ全ク地頭地主「クレジット」ヲ得

セシタルニアリ而シテ^{書入}地債券ヲ以テ之ニ維持スト云ヘリ
農業信任義會ノ法ニ於テハ入社ノ丁多クハ該議會會長ノ意
見ニ任スト雖モ貸財ヲ借受セント欲スルモノハ必ス其
社員ニ加ハルニ非サレハ決テ負債ヲナス丁ヲ得ス東普
魯西邦ニ於テハ地頭地主悉ク義會社員ニ加ルヘキモノ
トセリ故ニ該邦ノ地頭地主ハ渾テ負債ヲナスノ權アル
ヲ以テ各自持地ノ半價マテハ義會ヨリ其幹旋ヲナシテ
之ヲ保證セリ又貸主即チ財主ニ對シ債券ノ利子ハ必ス其
約條ニ隨ヒ現金ヲ以テ一年二回納付スヘキノ保證ハ勿論又半
年前ニ於テハ其元金一時ニ償還スヘキノ約ヲナシ得ルモノト
セリ而シテ地頭地主其持地ヲ書入レ財貨ヲ借受セシ丁ヲ要ス
ルキハ義會會長ヘ其書入地ノ目錄ヲ添テ之ヲ請願シ義會ニ於テ
其地價ヲ積リ^{書入}此地價公平ヲ得シカ為メ一郡一村毎ニ模範地ヲ定

メ之ニ準據シテ積ヲナスニヨリ其高平準ニ歸スルモノ
ナリ尤モ農具畜獸ハ積リニ入レス又家屋ヲ以テスルキ
ハ土地ヲ以テスルキヨリ其借受高ヲ減ス^{書入}現金ト債券
トヲ以テ之ヲ交付ス^{書入}債券ノ分ハ凡ソ借受スヘキ金高十
分ノ五或ハ四分ノ三ニシテ其餘ヲ現金トセリ^{書入}而シテ此
債券ハ一般通用スルモノトセリ^{書入}債券ノ持主現金ト交換
欲シ若シ紛議ヲ生スルキニ於テ速決ヲ要スル為メ別ニ
其裁判法ヲ設ケアリ^{書入}債券ノ種類大小アリ其最モ少數ハ二
十^{書入}タール^{書入}九十四^{書入}圓^{書入}ニシテ其最モ大數ハ二千^{書入}タール^{書入}
九十四^{書入}圓^{書入}ナリ而シテ國債証書ノ如ク時勢ニ隨ヒ俄ニ價
位ノ昂低スルモノニ非ス又相場會社ニ於テ賣買スル
ヲ得ルト雖モ奸計ヲ以テ之ヲ昂低スルノ弊習ナシ
實^{書入}地債券ヲ現金ト交換スルノ方法各邦ニ異ナリ或ル邦

ニ於テハ我會ヨリ借主 直ニ其債券ヲ交付シ借主
之ヲ賣却シテ現金ヲ得セシムルノ法ナリ又義會ニテ
債券ヲ財主ニ賣却シ其現金ヲ借主ヘ交付スルノ法ナ
リ此法尚ホ前法ニ優レリトス然ルキハ義會ハ財主ニ對
シテ借主トナリ借主ニ對シテ財主トナルモノナリ頃年
各邦ノ農業信任義會及^{土地}書入實地銀行ハ渾テ此法
ヲ行ヘリ而シテ貸付セシ元金高ハ年賦ニテ償還セ
シムルノ方^法アリ此年賦高ハ元金償還高利子及ヒ全
費加ハレリ一元金償還ノ高年月ノ長短ニ隨ヒ各異同
アリ其最モ低度ハ高ノ五厘ニシテ其高度ハ二分ナリ
尤モ四十年ニテ償還セハ九ツ一分ニ當レリ又債券ノ元金
高借主ノ便宜ヲ以テ其定數ヨリ多分ニ償還スルヲ得ル
ト^實債主即チ義會ヨリ一時ニ償還スヘキ^丁ヲ促スヘカラス而テ

債券高四分ノ一償還ニ終ルニ於テハ之ニ應シテ其書入
地ヲ減ス債券ノ價位現金ヨリ高ノ二分乃至七分マテニ
騰貴セシ^丁アリ一年賦償還及ヒ債券時價昂低ノ事ハ卷
尾ニ表ヲ添付シテ之ヲ詳明ニス
信任義會ノ法初ニ定メシキハ六ヶ月前ニハ義會ニテ債
券ノ元金一時ニ償還スヘキノ約ヲナシ得ルモノト^ス
ニ實際經驗上大ニ障碍アルニヨリ遂ニ之ヲ整正シ必ス
年賦ニテ償還スヘキモノトセリ故ニ債主ニテ一時元金
ヲ欲スルキハ相場會社ニ至リ其債券ヲ賣與シ直ニ現
貨ヲ領受シ得ルヲ以テ債主ノ爲ニハ却テ便宜ナルモ
ノナリ如何トナレハ尋常債券ノ價位現貨ヨリ騰貴シ
又現金授受ノ道確實ナルニ依テナリ
此債券ハ信任義會ニ於テ抽籤法ヲ行ヒ債主ヨリ償還ス

ル高ニ應ニテ逐年支消スルモノナリ而シテ債券ノ正確ナルコトハ土地ノ書入ト義會ノ保証トニアリ又或ル國ニ於テハ大政府或ハ各邦政府トテ保証セリ故ニ従前ノ如ク決テ顧慮スルコトナク大ニ之ヲ信任セリ是レ全ク義會管理ノ嚴密ナルト方法ノ整備ナルトハ勿論地頭地主ノ社員タルノ榮譽アルヲ以テ事十分整理スルニ依ルモノナリ而シテ又一般聊カ障碍ナク賣買流用ノ便ヲ有セリ債券ノ利子ハ義會ヨリ直ニ交付スルヲ以テ其持主ノ元金借主ニ照會セシテ之ヲ收受スルコトヲ得又元金借主ヨリ條約ニ遵テ利子及ヒ元金ヲ年々納付スルハ貸主即チ義會ニテ其元金一時ニ償還スヘキコトヲ促カスノ權利ナシ若シ其約ニ背キ期限ヲ遷延シ又數回督促シテ之ヲ情ルルハ義會ニテ其書入地ヲ一時預リ置キ而シテ元金利子納

付終ルマテノ間ハ專ラ之ヲ取扱フノ權アリ或ル義會ノ恣ニ於テハ直ニ其書入地ヲ賣渡スコトヲ得或ハ地主(即チ)ニテ之ヲ他へ貸渡スコトヲ許シ或ハ義會ヨリ地主ノ名前ヲ以テ其書入地ヲ抵當トシ一時ノ負債ヲナスモアリ但シ此負債ハ其土地ヲ賣却シテ價金ヲ收受スル迄ノ間一然リト雖モ借主時勢ノ変動ニ依リ不慮ノ困難ニ遭遇シ止ラ得スニテ遷正スルハ義會ノ長之ヲ延期スルノ權アリ又其事理ニ隨ヒ更ニ貸財ヲ貸付スルコトヲ得是レ畢竟土地ヲシテ荒蕪ナラシメサルノ旨意ニ出ルモノナリ故ニ是カ爲メ義會ニ於テ豫メ其豫備金ヲ蓄ヘリ之ハ貸財ヲ貸付スルハ義會ニテ要スル所ノ手数料等或ハ直ニ現金ト交換シ易キヲ以テセリ

渾テ義會ヨリ生スル訴訟ノ判理及ヒ没收ノ處久ハ
速決ヲ要スル為メ別ニ裁判法ヲ設ケアリテ印紙稅
手数料ヲ要スル丁ナシ又教院學校義助金、郷黨積金、
餘蓄預金、孤兒扶助金等ヲ預ルコトヲ得ルモノナリ又
政府ヨリ金ヲ與フル所モアリ、菲哩特第二世ハ細勒
西亞邦ノ義會ヘ年二分ノ利子ニテ三十万「我ニ
三千八百円」ヲ貸付シ義會ヨリ之ヲ他ヘ貸渡シテ五
分ノ利ヲ收得ス魯西亞帝亞歷山德第一世ハ「我
トニシヘ」ノ銀行ヘ年三分ノ利子ニテ五十万「我
ル」〔我三
五千円〕ヲ貸付シ而シテ二百七十万「我
五千円」ノ紙幣發行ヲ許可シ發行ノ後十六年目ヨリ
總高ノ五分ツ、逸年支消スヘキコトヲ委任セリ
義會ノ事務ハ各社員ニ於テ分掌擔理スト雖モ政府

ヨリ一員ノ委員ヲ出シテ之ヲ管理セリ而シテ義會
ノ經費ハ元金ノ利子高百分一ノ四分一「脚ニ
十百円」ニシテ債券ノ利子ハ借主ヨリ納ル所ノ利子百分一
ノ四分一ヲ減シテ之ヲ交付セリ
東普魯西邦ニテハ凡ソ地價三分ノ二マテヲ以テ其
元金ヲ貸付セリ而シテ義會之ヲ斡旋スルノ方法從
來貸借ノ方法ニ比スレハ保証ノ確實ナルハ勿論便
益ヲ得ル丁大ニ多シトス先ツ書入トナルヘキ土地
ノ價高判明セサルハ、縝密ニ調査シテ其積リ正確
ナリ又貸付スヘキ元金高ハ必ス其書入地ノ價高ニ
昂ル丁ナク又貸付ノ際注心スルニ依リ決テ欺罔ヲ
受ル丁ナシ而シテ義會ノ地頭渾テ其責ニ任スルヲ
以テ仮令天災ニ罹リ書入地ノ價位ヲ損シ元金ヲ償

フニ不足ナルモ速ニ之ヲ辨償シ且ツ訴訟ノ判理ハ
速決ヲ要スル爲メ別ニ裁判法ノ設アリテ手数料ヲ
要スル丁ナキニ依テナリ

債券ノ利子ハ義會ニ於テ六ヶ月毎ニ利息切手ト交
換シ元金ノ利子ハ年々借主ヨリ義會ニ納付セリ而
シテ債券ノ種類ハ渾テ異ナルナク同種同位ニシテ
貸主ノ名ヲ記サス其書入地ノミヲ具サニ記載セリ
茲ニ於テ一般大ニ能ク通用スルモノナリ又賣渡
証據裏書等ノ手数料ヲ要セス

債券ノ支消ハ義會ニテ豫メ之ヲ公告シ而シテ一月
一日七月一日ノ兩度ニ抽籤法ヲ行ヒ借主ヨリ償還
スル元金及ヒ餘贏ノ利子元金ノ利子ハ年々同額ヲ
以テ借主ヨリ納付シ其債券ノ利子ハ逸年支消ノ爲

メ減額スルニヨリ其差金高全ク義會ノ積金トナル
ヲ以テ逸年債券総高ノ幾分ヲ支消スルモノナリ
政
府ノ持地ヲ書入レ債券ヲ發行スル丁ナシ
千八百三十五年普魯西國ニ於テ債券ノ最モ多ク通
用セシ丁ハ左ノ如シ

東普魯西邦ハ 千二百二十四万九千四百七十五
ターレル

千八百八十三万五千九百七十五

西普魯西邦ハ 千二十一万六千八百八十三ター
レル

千七百七十七万七千七百七十五

幾爾疆及新疆邦ハ 千四百十六万三千三百ター
レル

千八百八十五万

波美拉尼亞邦ハ 千四百八十四万七千七百七十五ター
レル

千七百八十四万七千七百七十五

細勒臣臣邦ハ

四千五十二万六千三百六十五
一酸三竹八册三万二千九百六

